

# 令和元年度観光入込客数について

観光スポーツ交流部観光課

## 1 観光入込客数

5,079,300人 (対前年同期比96.4%)

・平成30年度 5,270,500人 (対前年同期比98.4%)

・平成29年度 5,357,000人 (対前年同期比100.9%)

## 2 宿泊延数

905,800泊 (対前年同期比83.6%)

・平成30年度 1,083,100泊 (対前年同期比115.8%)

・平成29年度 935,600泊 (対前年同期比109.2%)

## 3 外国人宿泊延数

241,344泊 (対前年同期比98.7%)

・平成30年度 244,515泊 (対前年同期比118.8%)

・平成29年度 205,764泊 (対前年同期比109.2%)

## 4 内訳

	観光入込客数			宿泊延数 (泊)	外国人宿泊延数 (泊)
	(人)	うち道外客(人)	うち道内客(人)		
令和 元年度	5,079,300	2,579,900	2,499,400	905,800	241,344
平成30年度	5,270,500	2,784,800	2,485,700	1,083,100	244,515
平成29年度	5,357,000	2,666,000	2,691,000	935,600	205,764

## 5 特徴

観光入込客数は、10連休となったゴールデンウィークや北海道胆振東部地震からの回復などにより上期は前年度比12万1千人増となったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、3月は前年度比マイナス85.0%、29万8千900人減となったことから、下期は前年度比31万2千200人減となり、通年でも前年度比マイナス3.6%、19万1千200人の減となった。

宿泊延数についても、下期は前年度のふっこう割による需要が無くなった上に、3月は新型コロナウイルス感染症の影響により前年度比マイナス83.6%、8万500泊と大幅な減少となり、通年でも前年度比マイナス16.4%、17万7千300泊の減となった。

外国人宿泊延数は、1月までは日韓情勢の変化による韓国の観光客減少を除き、多くの国において増加傾向にあったが、2月に落ち込む傾向となり、3月には前年度比マイナス92.7%と大幅に減少し、最終的に前年度比マイナス1.3%、3千171泊の減となった。

国・地域別では、中国が前年度比マイナス2.0%となったものの最も多く、次いで旭川空港に直行便のある台湾や継続的にプロモーションを行っているタイが続き、香港、シンガポールの順となった。

◆国(地域)別の宿泊延数は以下のとおり。( )内は前年度

1位	中国	53,810泊(54,910泊)	対前年度比	98.0%
2位	台湾	51,847泊(43,474泊)		119.3%
3位	タイ	42,634泊(50,407泊)		84.6%
4位	香港	29,527泊(28,557泊)		103.4%
5位	シンガポール	18,355泊(14,405泊)		127.4%